

■自然環境調査

1. 植物調査

1) 調査期間

項目	調査内容	回数	調査時期
①群落調査	植生調査・植生図作成	2回	5月、7～8月
②植物相調査	―	2回	5月、7～8月
③大径木調査	―	1回	5月
④景観調査（調査中）	景観の現況把握	3回	5月、8月、10月～11月

2) 確認種および重要種

【確認種数】102科364種

【重要種数】9科15種

2. 哺乳類、鳥類

1) 調査期間

項目	調査内容	回数	調査時期
①哺乳類調査	任意踏査	1回	5月
②鳥類調査	任意踏査	3回	2月、5月、8月
	ラインセンサス調査（3本）		
	夜間調査等（フクロウ類等）		

2) 確認種および重要種

【確認種数】2月調査・・・6目19科35種

5月調査・・・9目23科37種

8月調査・・・5目14科18種

【重要種数】6目9科16種

3. オオタカ等希少猛禽類調査

1) 調査期間

項目	調査内容	回数	調査時期
①オオタカ等希少猛禽類	定点調査、営巣調査	複数回	2月～7月

2) 確認種および重要種

【確認種数】2科7種

【重要種数】2科7種

4. 両生類・爬虫類

1) 調査期間

項目	調査内容	回数	調査時期
①両生類・爬虫類調査	任意踏査	2回	5月、8月

2) 確認種および重要種

【確認種数】両生類・・・3目8科10種

爬虫類・・・2目4科6種

【重要種数】両生類・・・1目3科3種

爬虫類・・・2目4科6種

5. 昆虫類・水生生物調査

1) 調査期間

項目	調査内容	回数	調査時期
①昆虫類調査	任意踏査	2回	5月、8月
	ベイトトラップ（5地点）		
	ライトトラップ（2地点）		
②水生生物	1回	1回	4月～5月

2) 確認種および重要種

【確認種数】昆虫類・・・13目114科

水生生物・・・3科3種

【重要種数】昆虫類・・・なし

水生生物・・・2科2種（留意種）

6. 土壌調査

1) 土壌調査地点

地形、植生、利用状況等について現地調査を行った結果、具体的な調査地点位置は以下のようになる

2) 調査結果

・土壌調査の結果、敷地内調査地点の土壌基盤の特徴は、簡易土壌断面地点N o.7 地点を除き、50 c m～1mまで厚い暗色の層で覆われていることがわかった。

・土壌調査の結果、土性は表層の20 c m～厚いところでは1mまで壤土（L）であり、その下層にはやや粘性の強い埴壤土（C L）が出ることがわかった。

・土壌分析の結果、N O.1 の表層土で透水性（排水性）に乏しく、N o.1～N o.3 についてはやや保水性に乏しい。
・また、全体的に塩類濃度が低く窒素以外の栄養塩類の含有が少ない可能性がある。

・N O.1 の表層については透水性について課題があるものの、公園敷地内の表層～1m までは植栽用土として充分活用できる土壌といえる。